

美

田辺銀冶 たなべぎんや
真打昇進記念スペシャル

令和3年 11月21日(日)

開場 12:45 開演 13:30

終演予定 15:30

木戸銭：4,000円(全指定席)

会場：紀尾井ホール小ホール

[出演]

前講 一龍齋貞奈

田辺銀冶「神崎与五郎 仮名書の証文」「扇の的」

田辺鶴瑛、銀冶 ステレオ講談「竹本駒之助伝」

[ゲスト]

浄瑠璃 竹本駒之助(人間国宝)

三味線 鶴澤津賀花

「仮名手本忠臣蔵」殿中刃傷の段



田辺鶴瑛



竹本駒之助



鶴澤津賀花

田辺銀冶 真打昇進記念

たなべぎんや
スペシャル

令和3年 11月 21日(日)

開場 12:45 開演 13:30 終演予定 15:30

木戸銭: 4,000円(全指定席)

会場: 紀尾井ホール 小ホール



田辺鶴瑛 講談師

一九五五年函館市出身。十九歳で実母を亡くし、心の空白を埋めるためインド、インドネシア、沖縄に旅立つ。帰国後は陶芸家、彫刻家助手、女優を目指すも断念。結婚、出産、子育ての後、義母が倒れ三年間の介護。介護が一段落した頃の一九九〇年十一月田辺一鶴に入門。二〇〇三年九月真打昇進。実体験を元にした抱腹絶倒の介護講談は映画化され「田辺鶴瑛の介護講談」全国各地で上映会が行われている。



田辺銀冶 講談師

一九八三年一月東京都杉並区出身。一九九二年講談師田辺一鶴に入門。ちびっこ講談で人気者に。高校卒業後は講談協会を休会し海外遊学。異国の地で「日本」に目覚める。二〇〇六年十一月同協会に復帰。師没後二〇一二年鶴瑛(母親)門下へ。古典講談は勿論のこと「古事記伝」「横濱メリー」「竹久夢二」など数々の新作講談を発表する、新進気鋭の女流講談師。定期的に自身の講談会「熱間鍛銀」を開催。二〇二一年五月真打昇進。

※ステレオ講談 間隔を開けて釈台を二つ並べ、地の文や台詞を読み分けたり同時に読んだりするもの



撮影: 中山鉄也

〔ゲスト〕
たけもとこまのすけ
竹本駒之助 女流義太夫 太夫(写真左)
淡路島出身。一九四九年、大阪にて竹本春駒に入門。文楽の諸師匠方に師事。一九五二年、二代鶴澤三生を相三味線に東京で演奏活動を始める。一九五三年、豊竹つづめ太夫(のちの四代竹本越路太夫)に師事。一九七〇年、四代竹本越路太夫の女性唯の門人となる。一九九六年、モービル音楽賞受賞。一九九九年、重要無形文化財「義太夫節浄瑠璃」各個認定保持者(人間国宝)に認定。二〇〇八年、旭日小綬章受賞。二〇一五年、文化庁芸術祭賞大賞(音楽部門)受賞。二〇一七年、文化功労者に選出。二〇一八年、南あわじ市名誉市民に選定。
つるざわつがはな
鶴澤津賀花 女流義太夫 三味線方(写真右)
福井市出身。一九九五年、武蔵野音楽大学音楽部音楽学学科卒業。一九九八年、竹本駒之助に入門。二〇〇二年、初舞台。二〇〇六年、文化庁新進芸術家国内研修員として三味線を六世鶴澤燕三に師事。二〇〇九年、(公財)日本伝統文化振興財団「邦楽技能者オーディション」合格。二〇一七年、松尾芸能賞新人賞受賞。

—— 感染症対策へのご協力をお願いいたします。 ——

- ※ マスク着用、検温、手指の消毒にご協力をお願い致します。
- ※ 体調不良の方はご来場をお控え下さい。
- ※ 座席は定員の50%での開催と致します。
- ※ 出演者は変更になる場合があります。予めご了承下さいませ。



ご予約・お問合せ
主催 田辺企画事務局
☎ 050-5240-2070 (留守電対応)
✉ ladygigi.jp@gmail.com (銀冶)